

平成 25 年度 郷土資料館運営委員会

日時：平成 25 年 9 月 18 日（水）10：00

場所：図書館本館 2 階会議室

運営委員 阿部博行委員 犬塚幹士委員 後藤義治委員 齋藤和久委員

佐々木勝夫委員 前田光彦委員 三浦 健委員 渡部 幸委員

職員 館長：板垣 茂 図書専門員：今野 章
主任：本間 緑 社会教育課長：加藤 保

会議次第

- 1、開会
- 2、委嘱状交付
- 3、館長あいさつ
- 4、郷土資料館運営委員並びに事務局紹介
- 5、正副委員長の選出
- 6、委員長・副委員長あいさつ
- 7、報告・協議

(1) 平成 24 年度郷土資料館の運営について

(2) 平成 25 年度郷土資料館運営方針及び上半期の事業について

(3) その他

8、閉会

平成24年度郷土資料館の動向

1. 視察・取材・資料調査

- 24年 4月24日 酒田市立資料館 資料調査（企画展「酒田を襲った災害の歴史」）
5月 2日 国立国語研究所 資料調査（斎藤秀一関係） 目録作成
5月15日 朝日新聞鶴岡支局 取材（柏戸展）
5月17日 日野市立新選組のふるさと歴史館 資料調査（新徴組）
5月18日 山形新聞 取材（柏戸展）
5月22日 BS・TBS「謎解き江戸のススメ」取材（林家魚拓）
5月30日 新和設計（「鶴岡市津波ハザードマップ」作成のため）
6月 5日 東北映音㈱ 資料撮影（大山安良町公民館写真）
6月23日 宮城県岩手山町歴史愛好サークル（三方領地替）
7月12日 さくらんぼテレビ 取材（柏戸展）
8月12日 櫛引ケーブルテレビ 取材（柏戸展）
8月17日 日経新聞 取材（林家魚拓）
9月 6日 米沢女子短期大学教授 資料調査（江戸期の方言）
9月19日 鶴岡工業高校教諭 資料調査（擬洋風建築マップ作成のため）
10月11日 毎日新聞 取材（新徴組展）
10月12日 テレビユー山形 取材（新徴組展）
10月23日 読売新聞 取材（新徴組展）
11月25日 鶴岡タイムス 取材（新徴組展）
12月 5日～9日 南カリフォルニア大学教授 資料調査（石原莞爾）
12月13日 慶應義塾大学経済学部教授 資料調査（写真館関係）
福島県立博物館 資料撮影（川崎尚之助史料）
12月14日 日野市立新選組のふるさと歴史館 資料撮影
12月18日～ ザフル（庄内映画村） 映画「おしん」の為の資料調査
12月19日 NHK山形放送局（丸谷才一氏関係資料）
12月21日 市広報 取材（新徴組展）
12月23日 コミュニティ新聞 取材（新徴組展）
12月24日 酒田市立資料館 資料撮影（森藤エ門関係）
25年 1月22日 東北公益文科大学 高谷研究室（シンポジウム資料として）
1月24日 市広報 撮影（丸谷才一氏関係）
2月26日 山形新聞 取材（庄内の地震展）
山形テレビ 取材（酒田港について）
3月 2日 読売新聞 取材（庄内の地震展）
3月 5日 学習院女子大教授 資料撮影（林家魚拓）
北京大学教授 資料調査（石原莞爾）

		庄内日報 取材 (庄内の地震展)
3月 8日		国学院大学文学部ゼミ学生 資料調査 (森敦『月山』について)
3月 9日		山形放送 取材 (庄内の地震展)
3月13日		中京大学教授 資料調査 (庄内藩関係)
3月17日		羽黒調査観光課 資料調査 (玉蔵坊関係資料)
3月30日		新潟大学教授 地震関係資料撮影 (大泉昆録)

2. 資料貸借関係

(貸出)

24年	5月11日～	7月31日	酒田市立資料館 (災害関係資料)
	5月18日～	5月30日	らくがき倶楽部 (出版記念賞選考のため)
	7月 3日～	9月30日	日野市立新選組のふるさと歴史館 (新徴組関係資料)
	7月22日～	7月29日	NHK鶴岡支局 (森敦展関係資料)
	7月27日～	同日	松本十郎を顕彰する会 (松本十郎関係)
	8月30日～	25年3月31日	藤沢周平記念館 (企画展のため)
	9月21日～	10月17日	霊山歴史館 (佐藤政養写真)
	9月28日～	11月 8日	広重美術館 (湯殿山道中略図)
	10月10日～	11月30日	榊徳間書店タウンムック編集部 (鶴ヶ岡城下絵図)
	10月24日～	11月30日	彩雨亭鬼談会実行委員会 (庄内郷土かるた)
	10月31日～	12月 6日	榊吉川弘文館 (「鶴ヶ岡七日町菅原屋・米田屋の図」)
	11月 7日～	12月 1日	致道博物館 (企画展のため)
25年	1月31日～	3月31日	アートフォーラム・致道博物館 (企画展のため)
	3月 5日～	(貸出中)	東京都江戸東京博物館他 (「八重の桜展」のため)
	3月27日～	6月26日	酒田市松山文化伝承館 (企画展のため)

(借用)

24年	3月 1日～	10月 3日	柏戸記念館 (「柏戸展」のため)
	4月	～10月 3日	相撲資料館 ()
25年	1月18日～	6月12日	大山小学校同窓会 (「庄内の地震展」のため)
	2月 5日～	2月26日	国立科学博物館 ()

3. 寄贈資料

24年	5月19日	清河八郎書状
	7月13日	昭和初期の写真資料
	7月19日	中世古元一関係資料
	9月28日	地主家文書
	11月27日	遠藤正和算資料
	12月 4日	庄内地域全般観光パンフ、チラシ類

4. 寄託資料

栃屋 斎藤家史料

5. 購入資料 (主なもの)

- ・本郷組砂川村文書
- ・同組小綱木村文書
- ・大物忌神社関係資料
- ・庄内藩土塙家史料
- ・清川大肝煎斎藤隼人文書
- ・田川八幡宮社文書
- ・小真木村日枝神社文書

6. 展示

- 5月～10月 「郷土が生んだ大横綱 柏戸」(229人)
- 10月～25年2月 「新徴組—江戸から庄内へ、剣客集団の軌跡—」(550人)
日野市立新選組のふるさと歴史館との共同開催
- 2月～6月 「史料で見る庄内の地震展」(200人)

7. 講座等

- 8月25日 花筏健氏講演会「柏戸を語る」(33人)
- 25年 1月12日 佐藤賢一氏講演会「新徴組と幕末」(100人)
- 1月19日 本間勝喜氏古文書講座(1回目)(29人)
- 2月 2日 " 古文書講座(2回目)(28人)
- 2月23日 " 古文書講座(3回目)(21人)

8. 資料利用許可

- テレビ放映等 8件
- 書籍・新聞等掲載 23件
- 展示 18件
- その他 4件(論文、研究発表等)

9. 参考相談件数

一般関係	郷土関係	口頭	電話	文書(メール・FAX)	計
33件	494件	433件	79件	15件	527件

10. 複写件数・枚数

944件 24,774枚

11. 整理資料

- ・佐藤誠朗文庫
- ・東田川郡電気組合資料
- ・大山馬市場資料
- ・伊勢横内阿部四郎右衛門文書

- ・遠藤正和算資料
- ・郷土刊行物（同人誌・文集類など）

1 2. 資料のデジタル化

- ・新聞
 - 日刊庄内 昭和29年1月～昭和30年9月
 - 庄内新聞 昭和30年12月、昭和31年1～3月
 - 庄内タイムス 昭和35年11月～昭和37年4月
 - 荘内日報 昭和31年1月～昭和34年12月
 - 山形新聞 明治9年～昭和30年（購入）
- ・古絵図
 - 鶴ヶ岡城下絵図（嘉永5年）
 - （鶴岡）五日町絵図
 - （鶴岡）七日町絵図
 - （鶴岡）十日町絵図
 - 亀ヶ崎絵図（明和7年）
 - 庄内亀ヶ崎御城絵図
 - 松領旧藩家屋之絵図

1 3. 古文書整理ボランティア事業

4～3月（15回） 8～12月までお休み

※東田川郡電気事業組合資料（目録完成）

大山馬市場文書 （ 〃 ）

松山町合併町村廃棄資料 （未完成）

八幡町 〃 （ 〃 ）

1～3月までは目録作成のためのワークショップを行った。

現在では古文書整理するグループと古写真（小淀川地区文書）を整理するグループに分かれて作業している。参加人数合計6名。8月～12月までお休み。

1 4. その他

24年 7月10日 行政廃棄文書の再保存

8月 7日 致道博物館 学芸員実習

9月14日 郷土資料館運営委員会

25年 1月 5日 藤沢周平記念館に史料の燻蒸依頼

2月 5日～15日 特別図書整理期間

2月19日～3月30日 正面玄関入口横にて H24 年度出版郷土資料図書展示

平成25年度 図書館（本館）・郷土資料館重点施策

生涯学習社会に対応する図書館づくり

急速な社会の変化は、市民の日常生活や社会生活に大きな影響を及ぼしています。こうした中、市民の学習ニーズもまた多様化・専門化してきており、図書館は市民の読書施設としての役割とともに市民の生涯学習活動を支援する場としての役割が益々重要性を増しています。また、図書館には、市民の知る権利、学習する権利を保障するという基本的な役割があり、その役割を果たすためには、市民が気軽に図書館に立ち寄り、書架に並んでいる本や雑誌を手にとり、ページをめくる楽しみが感じられるような魅力ある蔵書を整備することが不可欠と言えます。

また、昨年度から地域における生涯学習事業とコミュニティ活動を一体的に推進することにより、地域課題の解決に向けて取り組む推進体制が構築されたことから、図書館も生涯学習施設としての充実を図り、活気あるまちづくりをすすめるための役割を担う施設として、今後専門的な課題にも対応できる機能を強化する必要があります。

折りしも、平成27年は市立図書館開館100周年にあたるため、5分館との連携を強化しプレ事業等を企画・実施することで、さらに多くの市民が読書に親しめるように努めます。また、図書館システムの更新によるサービス向上を図るとともに、移動図書館車への市民ニーズに可能な限り対応しながら、誰もが利用しやすく、常に質の高いサービスを提供できるような図書館をめざします。

1 多様化・専門化する学習ニーズに応える図書資料の充実

- (1) 市民ニーズに応える図書資料の収集（地域の課題解決につながる資料の拡充等）
- (2) 行政資料、郷土出身者の著書、郷土出版資料等の重点収集
- (3) 中高校生（ヤングアダルト）向け図書資料の充実
- (4) 郷土出身作家コーナーの充実（絵本作家分等も含めて）

2 親と子の読書推進

- (1) 館内おはなし会の実施、小学校等への派遣事業の実施
- (2) 図書館事業のパートナーとしての読み聞かせボランティアの育成と支援
- (3) 学級や読書サークル等への団体貸し出しの実施
- (4) 児童読書感想文及び児童読書感想画コンクールの実施

- (5) 手づくり絵本・紙芝居コンクールの実施
- (6) 乳幼児や児童とその親に対する読書推進事業の実施（ブックスタート事業による啓発）
- (7) 市立図書館活用を含めた学校図書館支援

3 高齢者・障がい者等への配慮と一般市民の読書推進

- (1) 自動車文庫「やまびこ号」による移動図書館事業の拡充及び事業PR（各種イベント参加を含む）
- (2) 高齢者福祉施設等への対面朗読ボランティア派遣と当該ボランティアの育成支援
- (3) DVDの充実による利用推進と大活字本、録音図書（CD）活用推進

4 郷土への理解と地域文化の振興

- (1) 第55回上野甚作賞短歌の募集及び表彰と歌集の発行
- (2) 図書館開館100周年記念プレ事業として「新徴組に関する講演会」、「佐藤誠朗文庫公開記念シンポジウム」の開催

5 図書館サービスの充実と図書館情報の一元化

- (1) 新図書館システムによる図書サービスの一層の充実（館々間の連携）
- (2) 受付窓口での図書資料の案内と参考相談の推進
- (3) 各種広報媒体等を活用した図書館の利用案内と図書館事業のPR
- (4) 他の図書館の情報収集と相互協力
- (5) 良好な図書館環境の維持・保全
- (6) 市民要望を踏まえた図書館づくり

6 「子ども読書推進計画の策定」に向けた準備と関係部局との連携

地域に根ざした郷土資料館づくり

鶴岡市郷土資料館は、昭和51年に庄内地方の歴史資料（古文書等）を取り扱う、東北でも珍しい「文書館」的な施設として鶴岡公園内に設立されましたが、平成20年1月より市立図書館に併設されています。地元はもちろん、全国から調査・研究のための来訪者も多く、地域史料の殿堂として大きな役割を果たしています。

また、市町村合併に伴う全市域を対象とした集落伝来古文書のアンケート調査をほぼ終え、今後は民間に保管されている史料の調査を継続し、失われつつある文書の保存を推進し、更に利用者の便宜を図ります。そのため、現有資料の整理を進めるための市民ボランティアの育成支援を継続し、地域に根ざした資料館として一層の事業充実を図ります。

1 郷土史の調査・研究のための史料の収集と整理・活用

- (1) 古文書等郷土資料の調査、収集と整理、活用及び公開
- (2) 郷土出版物、庁内出版物及び郷土出身者の著書の重点収集と整理
- (3) 所蔵資料の整理促進を図るための市民ボランティアの育成支援
- (4) 貴重・劣化資料のデジタル化の推進
- (5) 郷土資料散逸防止（現地保存）の啓発

2 地域の情報拠点としての郷土資料館

- (1) 郷土に関する各種相談への対応と史料提供
- (2) 市民への資料公開（館蔵資料展等）
- (3) 各種広報媒体等を活用した郷土資料館の周知と利用PR

3 所蔵史料の利用促進

- (1) 所蔵史料のデータベース化と検索システムの構築に向けた検討
- (2) 松本十郎目録の作成と他所蔵史料目録（デジタルデータとしても）発行に向けた整理、調査の継続
- (3) 佐藤誠朗文庫等の市民へのPR
- (4) 諸家文書目録（既発行分）の利用促進

4 郷土愛の育成と地域文化の振興

- (1) 古文書解読及び郷土史関連の講座の開催
- (2) 郷土史関係団体への協力と連携（庄内歴史懇談会、温故の会等）

平成25年度上半期の主な事業

1、企画展・講演会など

- | | |
|-----------------|---|
| 6月22日 | 宮地正人氏講演会「幕末維新における庄内藩と新徴組」
(120人) |
| 6月30日～9月1日 | 展示「幕末の庄内藩 品川台場警備と蝦夷地経営展」
(114人) |
| 9月13日～
9月14日 | 展示「庄内の近現代史研究の先駆者 佐藤誠朗の世界展」
「庄内の近現代史研究の先駆者 佐藤誠朗先生を語る会」
(68人) |

2、寄贈資料

- | | |
|-------|----------------|
| 4月23日 | 屏風裏張り文書（大福帳など） |
| 5月30日 | 本町三丁目 岡部家史料 |
| 6月 8日 | 伝石原莞爾所有の財布 |

3、寄託資料

- | | |
|-------|-----------------|
| 4月 3日 | 旅河家資料追加（大坪流免状等） |
|-------|-----------------|

4、購入資料（主なもの）

- ・狩川佐藤仲三郎家文書
- ・三ヶ沢本間孫十郎家文書など

5、今後の予定

- ・『諸家文書目録Ⅻ 松本十郎文書目録』の刊行
- ・「松本十郎展」（仮題）の開催（2月頃から）
- ・古文書解説講座の実施
- ・郷土史講座の開催
- ・所蔵資料のデジタル化